



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第99号

令和5年10月18日



定例会毎に発行

河津町議会だより



河津町議会
WEBサイト

『ぼんぼんやまのおうち』のこどもたち(河津バガテル公園にて)関連記事P.16

P.2～P.3 **議会が厳しくチェック**

▶ 令和4年度決算審査

P.4～P.5 **議員発議提出**

▶ 定例会

P.6～P.11 **町政を問う**

▶ 一般質問 (6人)

P.12 **議員のなり手不足解消へ**

▶ 議会改革特別委員会

P.13 **町長へ政策提言**

▶ 常任委員会の活動

P.14 **常任委員会活発化**

▶ 議会のうごき・一部事務組合

P.16 **私の一言**

- ▶ 「河津町商工会青年部の活動」 / 後藤 啓太
- ▶ 「食べることが人生の喜びに」 / 鈴木 雅孔



YouTubeで
議会映像配信中

議会が厳しくチェック

令和4年度決算

認定

決算審査特別委員会にて7日間の審査を実施し、意見を付して認定。

付帯意見書

1. ふるさと納税のさらなる推進を図るため、使途の明確化策として感謝を伝える表示を検討されたい。
2. 働く世代の移住定住促進のため、町有地への町営住宅建設を検討されたい。
3. 河津小学校児童の命を守るため、新たな防災教育と訓練の強化を図られたい。

かわづっこひろば完成

2億5,235万3,000円

地域の子ども・子育て支援の充実と次世代を担う子どもが健全に成長できる環境の整備を図るために建設した子育て支援センターが完成した。



かわづっこひろば

ふるさと納税前年度比18%減 寄附額 1億2,932万8,000円(歳入)

件数 1,919件

令和5年度は返礼品の充実、PRの充実を図り寄附額増を目指す。

町の仕事委託 1億6,434万円

株式会社共立メンテナンスに13業務を包括業務委託した。うち35%を占めるバガテル公園管理運営業務は令和5年度から指定管理委託となり、行政事務包括業務委託から外れる。



沢田川浚渫事業視察

道路・河川整備 3,941万3,000円

経年劣化の著しい浜・笹原・沢田地内の道路側溝改修工事を行った。河川維持に対し沢田川・縄地川の浚渫工事を行い河川機能の回復に努めた。

水道料金・給食費助成など

1億8,220万3,948円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当し、水道料金2か月分助成・保育園から中学校までの給食費など感染症対策地域経済対応や原油価格高騰対応に充てられた。



町有林の間伐現場視察

山の資源を守る

1,287万円

森林経営計画の作成及びこれに基づく間伐等を促進し、森林整備にあたった。

走って歩いて縦貫道

134万6,536円

伊豆縦貫自動車道の早期全線開通に向けた地域住民の機運醸成を図る目的として、開通前の自動車専用道を活用したイベントが開催された。

公募によりランニング150人、ウォーキング300人が参加した。



自動車道を走ってみた

令和5年第3回 河津町議会定例会（抜粋）

令和5年第3回定例会が9月6日から9月19日までの14日間の日程で開催された。
報告3件、補正予算2件、令和4年度決算8件、議員発議1件、第1常任委員会報告、特別委員会報告が上程されすべて原案通り承認、可決、認定された。



岸 重宏 町長

行政報告（抜粋）

- 令和4年度決算
歳入50億4927万6722円
歳出47億7491万1085円
- 計109人が参加
町政地区懇談会を6回開催
- トライアスロン大会
10月29日開催
- 姉妹都市白提携40周年
・白馬村立南小学校児童来町
- ・河津小児童との交流
- ・記念事業として町民が白馬村を訪問

- 町政施行65周年
・記念式典を開催
- ・河津町表彰式
- ・記念講演

服部学園
服部幸應理事長

- 前年比74・7%
夏の海水浴来場客数減少。今井浜海水浴場来場者は2万2154人

- 温泉会館無料開放
30周年記念し、施設を無料開放。1904人が来訪

- 住民1513人が参加
総合防災訓練

9月1日

- 被爆地広島へ派遣
平和学習事業で、河津中学生2名を被爆地広島へ派遣

- 青山学院大学学習交流事業
河津中学生24名が参加

- 市町対抗駅伝練習始動
12月開催の市町対抗駅伝に向けて練習を開始した。

可決された議案（抜粋）

- 4081万円を追加
（一般会計補正予算）

地区要望による町道補修や施設修繕、文教施設整備検討のための業務委託料、令和5年1月から開始された証明書のコンビニ交付の増加に伴う手数料の補正など。

第2回臨時会

7月12日第2回臨時会

が開催され、同意案件1件、工事請負議案3件、補正予算案件1件、が上程され全会一致で承認、可決された。

- 新教育長就任



教育長 鈴木 弘光
(田中)

- 工事請負契約
・初景橋橋梁改修工事株式会社 東海建設

- 7051万円
・防災拠点施設（長野）建設工事

- 株式会社 東海建設
2億8215万円
・河津町防災情報伝達システム整備

- 株式会社 日立国際電気静岡営業所
4億8494万6千円

- 1908万5千円を追加
（一般会計補正予算）
東アジア文化都市事業など。



議員発議

発議とは、議会において議員が議事の対象となるべき問題を提出することで、令和5年第3回定例会では以下のとおり発議された。



「オンライン委員会」

「河津町議会委員会条例の一部を改正する条例」

重大な感染症の蔓延又は大規模な災害の発生した場合などに、いわゆるオンライン会議システムを使用して委員会を開催できるように条例の一部を改正した。

これまでの条例では、新型コロナウイルス感染症の蔓延時のみに開催を可能としていたが、今回の改正により災害などの場合でも、オンラインによる委員会開催が可能とした。

委員会調査報告

各委員会は、付託された調査事件の調査結果を議長へ報告した。

「デマンド交通の検討を」

「第1常任委員会調査報告」

第1常任委員会は、議長に対し、公共交通に関する調査報告を行った。

町内の公共交通において、町バスや町営バスが使いづらく、利用者のニーズに合わない面があることから、配車アプリなどを利用した※デマンド交通の導入を検討し、町民の需要に応じて運行する使い勝手の良い公共交通を目指すことが必要であると報告した。

同委員会は、令和4年10月から先進事例を調査研究するとともに、町内の公共交通に関し民生児童委員と意見交換会を実施するなど町内の現状把握を行ってきた。

また、河津町地域公共交通会議への情報提供と、町長に対し政策提言を行った。

※デマンド交通とは、事前予約制で利用者に応じて運行経路が変わる交通手段。

「なり手不足解消のために」

「議会改革特別委員会調査報告」

議会改革特別委員会は、議長に対し、議員のなり手不足解消をテーマに調査検討した中間報告を行った。報告の内容は次のとおり。

○議員のなり手不足の要因の一つである議員報酬の見直しを

当町議会の議員報酬は、全国の同規模町村議会と比較して最低額に近い金額であることから、議員のなり手不足解消策の一つとして、適切な報酬額を町特別職報酬等審議会において審議を願う。

○反問権を付与

議員の質問に対して、町長に反問権を付与することで、論点の明確化を図り、わかりやすく開かれた議会を目指す。

*12ページに詳細内容を掲載

町政を問う

一般質問



おおかわ よしき 議員
大川 良樹 議員

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



入湯税のあり方を検討すべき

質問

入湯税引き上げの検討は

答え 特別徴収義務者の理解が必要

質問 入湯税の在り方と観光客に対する受益者負担の考えは。

町長 入湯税は目的税なので税金が増えれば観光目的にも使うことができ、税収により観光財源確保にも繋がると考える。

質問 東伊豆町の入湯税引き上げについて町長の考えは。

町長 まず東伊豆町とは宿泊施設の規模や状況も違うので、それぞれの町の特別徴収義務者の考えや、今後どのような方法で東伊豆町が進めていくのかを見ていきたい。

町長 東伊豆町とは宿泊施設の規模や状況も違うので、それぞれの町の特別徴収義務者の考えや、今後どのような方法で東伊豆町が進めていくのかを見ていきたい。

識改革が優先。その後に、必要があれば増収分について一定の基準を設けて還元する。特別徴収義務者の努力により、観光の自主財源が増えるなどの前提条件や制度として理解されれば、その時点で仕組みづくりを町として考えたい。

質問

フツ化物洗口の町長の認識は

答え 幼保に引き続き小学校でも大切

質問 フツ化物洗口について町長、教育長の認識は。

町長 子どもの歯の健康を守るという意味では適正な濃度による使い方に

よりその効果が認められており、国・県においても推奨している。幼稚園、保育園に引き続いて小学校でも行うこと

とが大切である。

今後保護者や学校の理解を得て進めて行きたい。

教育長 フツ化物洗口はむし歯予防効果があると

いうことだが、100%むし歯を予防できるわけではない。あわせてブラッシングや食生活、生活習慣などを家庭で見直すことも必要。

質問 河津小学校でフツ化物洗口実施の検討について教育長の見解は。

教育長 教育課程の枠組みで考えるのには無理がある。学校と言う場を有効に活用する別の枠組みを今後も検討し、どの時間でもどのように行えば可能か学校との調整が必要。

町政を問う

一般質問



わたなべまさあき 議員 渡邊昌昭

動画にて議会の様子がご覧いただけます



枯れ枝等の危険な踊子歩道

質問 来年度の町政の方針は

答え 財源を考慮し、持続可能な町を創る

質問 2期目の町政の半分を迎え、これまで町長自身の計画通りに進んでいるか。

町長 これまで一生懸命やってきました。丁寧な理解を進めるために少し遅れた感もあるが主な事業は順調に進んでいる。今後は持続可能な町づくりをするため考えて進めています。

く。

質問 コロナ禍からのターニングポイントである来年度予算編成の考えは。

町長 まだ固まっていないが、これまでの基本的な予算編成方針は変わらない。財源を考慮しながら基盤事業を進める。人口減少、少子高齢化が大

きな問題。

質問 来年度の予算編成に観光、Uターンの増加、ふるさと納税の増加についてどう考えるのか。

町長 制度設計をしながら対応できるものはしていく。インバウンド対策やイベントの見直し、企業版ふるさと納税にも力を入れたい。

質問 踊子歩道の管理は

答え 啓蒙活動を推進し協議会で管理する

質問 踊子歩道の、昭和の森天城山自然休養林管理運営協議会の組織編成は。現状は枯れ木等が多く景観を害するうえ危険である。事故発生時の責任はどこにあるのか。

産業振興課長 浄蓮の滝から湯ヶ野までの踊子歩道を開係市町や県観光協会、関係観光協会、東海

バス、日本森林林業振興会東部支部で協議会の形をとって管理運営、啓蒙活動している。電線への倒木については東京電力、NTTに連絡を取り施工予定の回答をうけている。

質問 歩道に案内表示がなかったり、修理の終わっ

たつり橋もマップでは通行止めになっている。**産業振興課長** 利用者への配慮が足りないのは承知している。案内表示などジオパーク推進委員会と検討を始めた。利用すること新たな啓蒙となるように努める。

他「マイナンバーカードについて」1件

町政を問う

一般質問



焼却のためトラックで運搬する沈殿汚泥



動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



みやざきけいじ 議員
宮崎 啓次

質問

沈殿汚泥を有機肥料化へ

答え 今後の取組の「ひとつ」して考える

質問 東賀環境センター

における、し尿処理での

沈殿汚泥の処理コストは。

町民生活課長 焼却処分

の後、福島県の最終処分

場に搬出しており、1ト

ン当たりの焼却に2万4

659円、最終処分に3

万9600円。年間総額

645万円の経費。(人

件費は含まず)

質問 化学肥料が高騰化

している。循環型社会の

取組として、有機汚泥を

有機肥料化し町民に無償

提供、JAや農業法人な

どと組みコスト削減を踏

まえ、商品化の研究に取

組む考えは。

町長 これまで廃棄して

いた物をいかに活用して

いくかが課題。ゴミの減

量化、リサイクル化に取

組んでいるが、コスト面、

住民の協力や理解も重要。

先進事例なども参考に、

組合議員や管理者の意見

も考慮し、今後の取組の

一つとして考えていく。

質問

事前に町当局のビジョンは

答え 特段の計画は無く、施設整備困難

質問 旧南中学校跡地は

公募前に町当局としてど

のような活用計画、ビジョ

ンがあったか。町民の皆

様や特に若い人たちにい

かに意見を求めたか。

町長 現段階で特段の計

画は無い。民間事業者の

提案による事業化の実現

が高いと考えた。

質問 議員説明会で公募

期間が短かすぎるほか多

くの異論、意見があった。

議会に理解されていると

答弁された根拠は。

町長 公募は町内の方も

町外の方も応募できる。

私としては手続きは問題

ないと思う。この計画は

進めるべき、町民、議会

にも理解を得ているもの

と解釈している。

質問 法的に必要ななく

ても重要な案件、議会に

かけるべきと思うが。商

工会、地元区にも丁寧な

説明が必要、お考えは。

町長 今後も、今の事業

を進めて行く。

他「河津城址公園の魅力

化と今後について」1件

町政を問う

一般質問



くわ はら たけし
桑原 猛 議員

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



今井浜海岸

質問

海の生かし方の協議会の考えは

答え 事業者からの新たな計画次第

質問 見高浜地区防潮堤の今後は。

町長 事業化を進める中で、示した内容とは異なった工事となっており、今後は、地区協議会での方針の見直しなども必要になる。

減している。夏場は海を目的に伊豆に来る観光客が大多数である。海の魅力を最大限に生かし、集客することが大事。海岸や海の利用のため、漁業者、観光関係者、沿岸地域を交えた今後の海の生かし方の協議会などを設立する時期ではないか。

を進めている事業者もいるが、今のところ新たな協議会は考えていない。今後、その事業者等を含めた新たな事業が、考えられれば、その時点で、検討する。現状その他の事業者による発案や計画が出てきていない。機運を見ながら、検討すべきと認識している。

質問 伊豆縦貫自動車道が町内で一部開通し、河津方面への通行車両が激

町長 海を生かした事業

質問

一時預かりの保育利用促進策は

答え 職員発案のお試し券導入

質問 かわづっこひろば活用の中で、有料である一時預かり保育、ファミリーサポートセンターなどの利用促進するため、

お試し券や割引券など検討されないか。

町長 一時預かり保育の推進については、町の職員の提案で、未就学児にバスステッカーを送るのではないか。

り、バスステッカーと一緒に、3ヶ月間有効の一時預かり保育3時間分のお試し券を送付して普及を図る事業を行っている。

質問 カウンセラーを常駐させ、気軽に相談できる環境を整えれば、相談するというハードルが下がり、利用促進が図られるのではないか。

町長 カウンセラー配置は考えていないが、親子で施設を訪れた際に、指導員が、子供の遊ぶ姿を見ながら親とコミュニケーションを取りながら話を聞いている姿を確認している。相談事がある場合には福祉介護課で対応する。

町政を問う

一般質問



七滝観光地の橋に倒れかかる大木



きた しま まさ お 議員
北島正男

動画にて
議会の様子
がご覧
頂けます



質問

もっと人に優しい河津町になろう

答え 利用者の目線をもって進めたい

質問 外出に慎重な人たちが、行動しやすいバリ

アフリー化の総チェックと改善の計画は。

町長 トイレだけでなく

改修や改良、建設時の対応を考える。案内表示等、担当課が点検し、できる所から始めたい。

産業振興課長 観光分野のみならず、「街づくり」の

広い範囲で総合的に進めたい。

質問 障害者等駐車場は、

不適切な利用防止のため国と県は「ゆずりあい駐車場」として町に啓蒙と、

設置促進及び車外に向けて表示する利用許可証の発行を委託しているが、その情報告知が見当たらない。現状はどうか。

町長 担当課と制度設計の中で検討したい。また

賀茂地区でも色々な計画があり、全体で「人に優しい町」になることが重要。

福祉介護課長 役場に3

台、利用証は5年で20件。今後、「ゆずりあい駐車場」適正利用の促進とマナーの向上を図り、人に優しい町へ推進していきたい。

質問

観光資源の保全でブランド向上へ

答え 将来を見据えた改善を考えたい

質問 景観豊かで、観光

に優れた町で観光が主力産業。であれば、設備投資や保全に、もっと積極的に

七滝の被害の早期修復と唯一の今井浜海水浴場への設備投資はどうか。

産業振興課長 「七滝」

の景観被害は、世界認定ジオサイトであり、人工的工事は、慎重に将来に

向けた改善を考える。「今

井浜」は来客前年比25%減だが今まで誘客の様々な取り組みはしてきたが、

大きく変えることはできなかった認識はある。今年

は、今後も設備の維持管理

を考えていく。**質問** 来年の「河津桜まつり」へ町民の声を届け

たが検討されるのか。ま

た、開催まで半年を切り、新しい計画の取組みはあるか。

町長 意見は各部会などで検討される。観光協会の誘客の取組みや体験事業などの計画に期待したい。

産業振興課長 新しい花

見スポットの定着と、ツアー企画など考えている。

町政を問う

一般質問



まさ き せい じ 議員
正木 誠 司

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



実施中の健康マイレージチャレンジシート

質問

旧南中学校跡地活用の進捗は

答え

契約に向けた覚書の締結を進める

質問 町長から、40年前と商売の形は変わり、自動車で町外へ出掛けたり、ネットでの買い物が当たり前になってきているとの発言があったが、自動車も

できない高齢者の事は何も考えていないのではなかいか。

町長 世の中が変わり、

色々な商売のやり方があるという意味。決して高齢者や買い物弱者をないがしろにしている訳ではない。

質問 これまでの対応や経過で見落とし等はなかったのか。

町長 ルールに従って対応し、議員や町民へ丁寧な説明をしてきた。

質問

高齢者向け積み立てポイント制度を

答え

新規事業の取組みは可能

質問 現在の健康マイレージは18歳以上からが対象だが、高齢者が対象の新たな健康維持、健康増進策は考えているのか。

町長 健康マイレージは現状で広がっていない状況。工夫や検討が必要であると思っている。

健康増進課長 運動教室健康づくりセミナー、特定健診・後期高齢者健診

の保健指導等を、高齢者も含め実施している。また、高齢者の運動という点では一般介護予防教室も実施しているため新たな施策は考えていない。

質問 今まで河津町に貢献してきた高齢者の健康維持のために、ふるさと納税を原資とした継続的なポイント積み立て制度はできないか。

他「令和6年河津桜まつりの集客について」1件

企画調整課長 ふるさと納税は寄附者が使途を指定して納税しており、健康・福祉事業にも充当している。国や県の補助金や一般財源・ふるさと納税を使つての新規事業は可能だと考える。

議会改革特別委員会

町政のチェック機能をしっかり果たすため、より良い議会運営を議員10人全員で協議し、改善すべき課題を抽出し解決を図っていく。

令和5年9月の第3回定例会にて、町の執行部が同席のもと、下記2件の調査、協議の結果を報告しました。その後、議長の承諾を得て、町長に申し入れました。

【1】議員のなり手不足解消について <議員報酬の見直し>

議員のなり手不足問題の深刻化から、その一つの大きな要因として議員報酬について、全国的に議論するようになってきている。当町議会としても、議会改革を進める中で、議員報酬の低さは、なり手不足の大きな問題の一つと認識しており、適切な報酬額を町特別職報酬等審議会において審議を願う。

なお、この件は、今後も議員のなり手不足の下記要因を研究、協議を重ね審議を継続します。

- ・兼業のしにくさ ・仕事や魅力の周知 ・議会日程のスケジュールリングの配慮
- ・女性の参入しやすい施策 ・選挙費用の軽減 ほか

(参考) 町村議員の月額報酬調査(人口5千～1万人未満) ※令和4年 全国町村議会議長会調べ
河津町の議員月額報酬は18年据え置き、168,000円で全234町村中219番目です。
ちなみに最上位は、301,000円。

全国町村の平均は、212,261円で河津町は、44,261円下回っている状態です。

(人口の多さや、面積の広さなどは報酬と比例していない)

静岡県内では、河津町の報酬額は最下位です。

【2】議論の明確化でより分かりやすい議会へ <反問権の付与>

定例会などで、議員の質問に対し、町長がその質問の趣旨について問い返す「反問権」を付与することで、議論の論点・争点の明確化を図る。これにより正確な回答が得られ、よりわかりやすく開かれた議会を目指すことができる。

* 反問権とは、議会の本会議において、議員からの質問・質疑・提案の趣旨や内容などを確認するために、行政執行者である町長が議員に対し質問することを言う。

<協議中のテーマ>

- ・町民の皆さまの参画による議会モニター制度の新設 ・常任委員会からの代表質問の確立
- ・議会内デジタル化の推進 ・議員のなり手不足解消に向けた改善策(継続)
- ・現在 禁止されている議会へのデジタル機器(パソコン・タブレットなど)持ち込み許可
- ・議会内容や活動のわかりやすい情報公開

議会改革特別委員会/委員長 渡邊弘議員・副委員長 宮崎啓次議員・委員 全議員

議員月例会

第1常任委員会

常任委員会活動

ペーパーレス化へ 向けて勉強会

- ・議会DXの取り組み
- 7月11日、東京インタープレイス(株)より「ペーパーレス会議システム」について研修した。
- 講師は、東京からリモートで参加した。会議システムを使用し、タブレットを操作してペーパーレス会議を体験した。



タブレットを使っでの研修

第2常任委員会

常任委員会活動

- 7月11日
- 公共交通について
- 7月25日
- 公共交通情報提供について
- 8月22日
- 報告書と提言書を作成
- 民生児童委員との意見交換会で得られた内容を地域公共交通会議へ情報提供



地域公共交通会議会長への情報提供

- 9月19日
- 令和5年第3回定例会に、これまで検討してきた公共交通について報告した。
- 町長に「もっと利用しやすい公共交通に関する申し入れと提言」を

町長へ政策提言

もっと利用しやすい公共交通に関する申し入れと提言（抜粋）

【1】現状と問題点

- ・バスの時間に都合を合わせにくい。
- ・町バスも駅まで行ってもらいたい。
- ・路線バスに乗りたいたが不便。
- ・夜間の移動手段が無い。

これらの課題解決のために、次の提言にまとめた。

【2】移動支援型交通の提言

河津町らしい新たな移動支援型交通の在り方を提言

(1) 地区と利用者の設定

① サービス区域は河津町内全域

サービス範囲

(乗降地)

歩行可能な生活範囲に設定した乗降場所から町内主要施設までの送迎とする。

② 利用者は事前登録による河津町在住者

(2) 利用料

有料で検討

(無料利用券併用)

(3) 予約方法

当初は電話のみとし発展的に配車アプリに移行を検討

(4) 運営組織

運営組織を検討する

(5) 調査

町民へのアンケートやプランの整合性を図る

(6) 法令関係

運行上の各種法令をクリアすること。
保険の加入。

本政策提言の実現に向けて積極的に行動願いたい旨を町長に提言した。



誘導看板例

- 9月12日 委員会
- 10月期月例会について

- 7月3日
- 青少年非行防止キャンペーン 委員長出席
- 7月20日
- 第1回河津町青少年問題協議会 委員長出席
- 8月3日
- 河津町自衛隊協力会理事會 委員長出席
- 8月16日 委員会
- 旧南中学校跡地について
- 8月22日 委員会
- 縦貫道開通に伴う町内への誘導看板設置について

議会のうごき



遠藤 嘉規 議長

常任委員会活発化

令和4年度決算審査特別委員会にて議会の活動が報告された。定例会、予算・決算審査特別委員会は例年並みの28日間、常任委員会、議会改革特別委員会等の活動は65日間で前年度比10%増、延べ93日間議会としての活動を行った。

その他、監査委員は38日間の活動となった。議会の活動は、Facebookに随時掲載しています。



Facebookで議会活動を発信中

一部事務組合

一部事務組合とは、複数の市町が共同で仕事を行う目的で設立する団体

東河環境センター

大川議員を議長に選出

6月21日
臨時議会を開催
・ 正副議長選出
議長 大川 良樹
副議長 須佐 衛
(河津町)

・ 正副議長選出
議長 江田 邦明
副議長 渡邊 昌昭
(下田市)

・ 議員研修会
通信指令室と後方支援車の説明を受けた。
(河津町)

下田地区消防組合

議員研修会を実施

7月7日
各市町議会改選に伴う組合議員の研修会実施
8月30日
下田地区消防組合議会
8月定例会
・ 令和4年度歳入歳出決算認定

控室を使いやすく

8月31日
伊豆斎場組合議会8月定例会
・ 議案5件が提出審議され原案通り可決。
・ 正副議長選出
議長 中村 敦
副議長 渡邊 哲
(下田市)

伊豆斎場組合

旧湊病院解体開始

8月29日
8月定例会を開催
・ 議案6件が提出審議され原案通り可決。
・ 正副議長選出
議長 浜岡 孝
副議長 桑原 猛
(下田市)

下田メディカルセンター(SMC)

・ 伊豆斎場控室、和室の登り口段差解消を予定



後方支援車



通信指令室



工事予定の段差手すりとステップ台を設置予定



旧共立湊病院

・ 県への医師派遣要請の継続。
・ 新たに糖尿病内科の設置を報告。
・ 旧共立湊病院解体工事の工程説明。

議会だより第99号

読者アンケート

締め切り
11月末日必着

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に
アンケート回答
ができます

●送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※切手代などは各自ご負担願います。

Q 1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q 2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。

複数回答可)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> P. 2 ~ P. 3 決算審査特別委員会 | <input type="checkbox"/> P. 13 常任委員会の活動 |
| <input type="checkbox"/> P. 4 ~ P. 5 定例会 | <input type="checkbox"/> P. 14 議会のごき・一部事務組合 |
| <input type="checkbox"/> P. 6 ~ P. 11 一般質問 | <input type="checkbox"/> P. 16 私の一言・編集後記 |
| <input type="checkbox"/> P. 12 議会改革特別委員会 | |

Q 3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. もう少し 4. 不満

Q 4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に
「河津踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前(任意)	
ご住所(任意)	
連絡先(任意)	

無記名でも構いません。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会より改めてご連絡差し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX番号 0558-34-1405

E-mail:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

～私の一言～



「食べるのが
人生の喜びに」
かわづっこ子育てねっこ
代表 鈴木 雅孔

「今日のごはんなに？」家庭的保育事業所『ぼんぼんやまのおうち』のこどもたちは、毎日の給食をとっても楽しみにしています。0、1、2歳児は、どのような食べ物を好むと思いますか？実は、洋食より和食の方が、不思議と食が進みます。今のこどもたちは、柔らかいものを与えられることが多く、硬いものは苦手です。そのため、噛まずに丸飲みや飲み込めず出してしまう子がとても多いのです。

しかし、よく噛むことで旨味が増していく、和食の食材を食べることで、上手にカミカミをしながら、自然と食べるのが上手になります。よく食べる子は、よく遊び、よく育ちます。食べるのが喜びとなるような食事をこれからも提供していきたいと思います。



一生懸命自分で食べようとする1歳児
食べる意欲がすごい



「河津町商工会
青年部の活動」
河津町商工会青年部
部長 後藤 啓太

河津町商工会青年部部長の後藤啓太です。

現在、商工会青年部は20歳代～40歳代まで25名が在籍しております。今年度からはコロナの規制も緩和され、コロナ前のような活動を再開し始めているところです。

7月には、静岡市で行われた主張発表大会に河津町商工会青年部員が伊豆地区連代表として出場し、多数の部員で応援に行きました。

商工会青年部は、令和3年以降6名の新規加入もあり、新たな仲間と共に幅広い世代で団結し、自身の商売のためになる勉強や地域の為の活動をこれからも積極的に行っていきます。

なお、11月には商工会青年部主催のイベントも予定しておりますので、是非ご家族皆様さんでお越し下さい。（一緒に活動する部員を随時募集しています。）



視察研修・寸又峡夢のつり橋にて

編集後記



7月31日に退任された鈴木基前教育長におかれましては、永年にわたる教育行政に携わり、また本年4月に開校した「河津小学校」の学校統合等にもご尽力いただき、議会からも感謝を申し上げます。
(大川)

広報常任委員会

- 委員長 桑原 猛
- 副委員長 北島 正男
- 委員 正木 誠司
- 委員 大川 良樹
- 委員 渡邊 昌昭

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。